

DOGS Plus を使ってみよう!



DOORSで十分だね・・・

「図書・雑誌」以外にも
目を向けてみよう!

データベースがたくさんあって
使い分けが難しい・・・
まとめて検索できる!

検索エンジンで探しているよ・・・

検索エンジンで
ヒットしないWeb上の
情報もある!



とは、本学で閲覧できる資料を広く検索できるサービスです。

紙の資料と電子の資料を同時に検索でき、DOORSでは検索できない論文タイトルや新聞記事の本文など、データベースの中身まで検索対象となるため、広く資料を調べたいときに便利です。学内ネットワーク経由で接続すれば、図書館が契約する有料のデータベースや電子資料も検索対象に含めることができます。

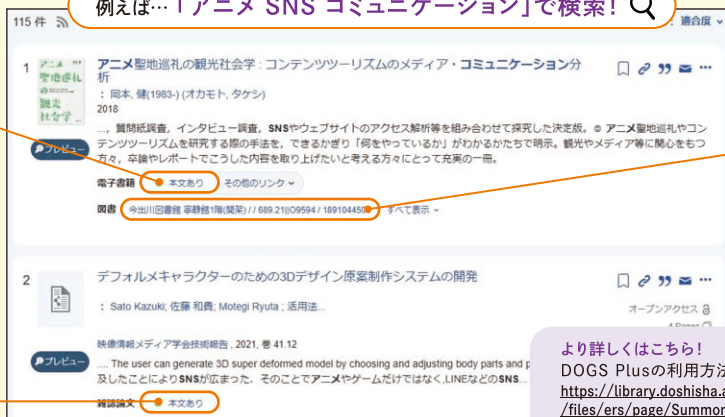
電子書籍が読める!!



論文の本文が読める!!



例えば…「アニメ SNS コミュニケーション」で検索!



本学図書館の 所蔵場所が分かる!!



より詳しくはこちら!
DOGS Plusの利用方法
https://library.doshisha.ac.jp/files/ers/page/Summon2.0_guide.pdf



! 本学でアクセス可能なリソース全体を検索することができます。
(学外から検索する場合は、VPN接続するとより多くのコンテンツを利用できます。)

! 本文内のキーワードまで検索対象となるため意外な資料が検索結果に出てくともあり、資料探索の幅が広がります。
! 検索結果画面から電子書籍や論文の本文閲覧ページに遷移でき、知りたい内容へ早くアクセスできます。

新機能

AIに質問してみよう💡

生成 AI を活用したツール

「Summon Research Assistant」が2025年10月からDOGS Plusに追加! 自由な発想で質問して、探求を深めてみませんか。

Point 1 自然言語で質問を入力できる!

「京都の観光における持続可能性が高い取り組みとは?」「バリの滞在はピカソにどのような影響を与えたのか?」など、検索したい内容を問いの形で入力します。
※一日に検索(質問)できる数には上限があります。

Point 2 回答とともに出典が表示される!

入力された質問に対して、関連する記事(上位5件)が要約されて回答に反映されます。出典となる記事へのリンクも表示されるため、出典を確認できるとともに、提示されたリンクからさらに調査を進めることも可能です。

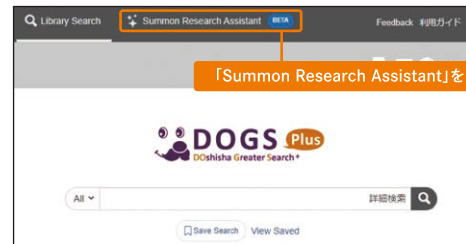
検索結果

A ソースとなるコンテンツ(上位5つ)
選択すると文献の詳細を確認することができます。

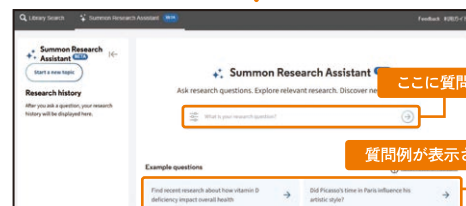
B ソースコンテンツを元に
作成された回答
文中の数字は上に表示されたコンテンツを示しており、回答の根拠や詳細を確認したい場合も容易です。

C 関連質問の提案
選択して検索結果を表示させたり、質問を考える際の参考にできます。

D DOGS Plusでさらに検索できます!



「Summon Research Assistant」をクリック



ここに質問を入力

質問例が表示されます

京都の観光における持続可能な取り組みとは?

1 関連

嵐山観光の資源人権学: 京都府立大学と地域の協働
室下, 恵(1973) / 2012

2 関連論文

「京都・エコツーリズム都市」についての議論
塚本, 佳一(2001)

3 学位論文

Climate change and the tourism sector: the clean development mechanism, a market instrument under the Kyoto Protocol
Fayos-Sola, Eduardo 2015

4 関連論文

Sustainability and Shifting Paradigms in Tourism
Fayos-Sola, Eduardo 2015

5 関連

Tradition, democracy and the tourism of Kyoto: claiming a right to the past
Brumann, Christoph 2012

View related results on your library search

Overview of sources

京都における観光の持続可能な取り組みは、地域振興や環境教育、文化遺産の保護といった多様な側面から進められている。例えば、京都府美山町の研究では、環境観光における観光資源がどのように創出され、人々がそれを用いているかを文化人権学的手法で解明している。この研究は、観光資源としての環境の重要性を示現している。また、2000年に京都市が開始した「京都・エコツーリズム都市」キャンペーンは、都市環境におけるエコツーリズムの可能性を探求している。この取り組みは、自然環境と文化、歴史との密接な関係を強調し、持続可能な観光の重要性を訴えている。さらに、気候変動と観光セクターに関する研究では、京都議定書に基づくクリーン開発メカニズム(CDM)が観光セクターにおいても持続可能な観光を促進するための新たな機会を提供することが示されている。このメカニズムは、途上国開発力不足の解消を目標とし、観光業における持続可能な発展に寄与する可能性が大きい。持続可能な観光の実現には、政府、民間セクター、市民社会が協力し、観光政策の長期戦略を策定することが重要である。1999年のランゾローチ宣言は、観光の倫理的、環境的、社会的、経済的影響に関する原則を提唱し、持続可能な観光の政策形成に影響を与えている。このように、京都における持続可能な観光の取り組みは、地域の特性を生かしつつ、環境保護や文化遺産の維持に向けた多角的なアプローチを要している。

Related research questions

京都の観光における環境保護の取り組みは何か? 持続可能な観光が京都の経済に与える影響は? 京都の観光地でのエコツーリズムの実践例は?

さらに使いやすくなる DOGS Plus を、ぜひご活用ください!